

「水都おおさか森林の市 2016」に参加しました

10月2日(日)に「水都おおさか森林の市 2016」(主催:おおさか森林づくり・木づかい実行委員会)が近畿中国森林管理局庁舎と毛馬桜之宮公園の両会場において開催され、森林整備センター近畿北陸整備局、関西支所、関西育種場が合同でブースを設けました。

この「森林の市」は、森林の恵みや、木に触れることで、森林と人とのつながりを実感し、森林・林業の役割と意義、農山村の現状について理解を深め、豊かな森林資源を次世代に引き継いでいくことを目指しております。今年は「遊んで さわって食べてみて 森林(もり)のめぐみを体験! 体感! 」をテーマとして開催されました。

当整備局では、事業紹介パネルの展示、樹木に関する漢字クイズ、どんぐりと松かさ
を材料にクラフトづくり及び丸太切りのコーナーを設けました。

当日は10月としてはかなり暑い1日でしたが、約150名もの皆様が私たちのブースに足を運ばれました。樹木に関する漢字クイズは老若男女を問わず挑戦されました。また、クラフトづくりや丸太切りコーナーでは、多くの方が汗を流しながら熱中し、イベントを終えた子供たちからは、達成感から時折歓声があがりました。また、帰り道では、自分で作ったクラフトを大事に抱えて歩いている子供たちの笑顔が見受けられました。

当整備局では、木への触れあいを通じて多くの市民の皆様には森林の恵みや、森林と人とのつながりを実感していただくため、今後もこうしたイベントに積極的に参加し、多くの方に森林の大切さ、林業の役割や農山村の現状について理解を深めていただくよう取り組んでまいります。



【松かさ・どんぐり人形作り】



【丸太切り】